

TNC

通信

2022  
6月号

## 19日に「定期総会」

5月号で発表の通り、「第27回富谷市日中友好協会定期総会」が日中国交正常化50周年の意義も込め、開催されます。

〈開催日時〉6月19日(日)午後2時～3時半

〈会場〉町上会館 富谷市新町26・阿部八商店グリーンガスサービス隣

〈内容〉開会あいさつ、来賓あいさつ、会長あいさつ、21年度総括、22年度計画及び予算審議、人事承認、閉会あいさつ

※なお、コロナに配慮し、懇親会は行いません。またマスクをご持参ください。

〈会費納入のお願い〉

2年間、コロナによる活動自粛をふまえて市協会会費を1000円としてきましたが、新年度は活動が見込まれますので、**従来通り市協会会費を3000円**とすることが理事会で承認されました。当日ご持参ください。なお振込用紙による納入の場合は赤色(当会による手数料負担)から青色(振込者負担)に代わりましたのでご了承ください。また『日本と中国』(全国協会機関紙)購読会員は6000円を加えての納入となります。ご協力、なにとぞよろしくお願いいたします。



当日は北京冬季五輪のマスコットがお迎えます(横山氏所有)

## 寅(トラ)の諺

「苛政は虎よりも猛し」一孔子が泰山の麓を歩いていた時、墓の前で夫人が泣いていた。訳を聞くと、夫も子も虎に食われて死んだ、と言う。なぜこの地を去らないのかと問うと、この地は厳しい政治が無いからです、と。孔子が弟子達に諭した言葉。(『礼記』)

「知の大冒険」-東洋文庫名品の煌めき-  
6月26日まで多賀城・東北歴史博物館で

アジアの文化や東洋・西洋との関わりを再発見する絵画や書物111点超の展示。東洋文庫は1924年に設立された世界屈指の東洋学研究の施設である。

月曜休館。入場料は一般1200円。

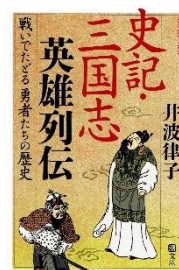
問い合わせ ☎022(368)0106。  
写真は「アヘン戦争図」。6月はブラウ「大地図帳」を展示。

## 「長い春…」 理事・洪 洋

小さい時から、私の家には日本があふれていました。両親が長春市の大学で日本語の教師をしていたからです。同僚の日本人の先生は、何を言っているのか分からないけど面白いおじさんで、お土産にくれた花柄のワンピースは同級生のうらやましそうな視線を集め、動くジョイナーの人形は私の一番のお気に入りでした。

家の本棚には日本語の本がずらりと並んでいて、分からずとも日本語は音楽のように耳になじんでいました。日本留学のチャンスが舞い込んだ時は、ごく自然な流れで日本に渡ることになりました。それから年月が流れ、今では日本生活が中国よりも長くなりました。寝言も日本語で言っているらしい。長春に帰省すると家族が集まって、必ず笑いながら話題に出るのは私の小さい時のこと。意味も分からずに紅白歌合戦のビデオを見て覚えた、松田聖子が歌う「抱いて抱いて抱きしめて…」と口ずさんで母親を驚かせたこと。

言葉が分からなくても触れる機会が多くなれば興味を持ちます。興味を持てばもっと知りたいと思うようになります。隣の国に興味を持てるようになるチャンスをよく作ることは、根気よく続ける草の根の活動です。コロナまでは自由に日本と中国の間で行き来ができましたが、今は我慢の時です。長い春が過ぎると、夏にも帰省できることを祈っています。

正常化  
50周年  
私の想い

「史記・三国志 英雄列伝-戦いでたどる勇者たちの歴史」(井波律子著 潮文庫880円)

中国文学者の著者が亡くなられて2年となる。

第1章「群雄割拠の時代」は始皇帝から項羽と劉邦の時代、第2章の「激動の時代を生き抜く漢(おとこ)たち」は漢の武帝から三国志の英雄たち。

全28編にその人物や事変などにまとめられており、通史であるとともに、名言名句もちりばめられている。挿絵や写真も多く、また最後には舞台となる約550年の年表もついており、史記・三国志の時代全体をカバーできるという、資料としても優れたものである。(M)